

歴史的建造物 花めぐり(1)

揚輝荘北園 ヤマザクラ

(公財)名古屋まちづくり公社 景観整備アドバイザー 野田 展葛

揚輝荘北園は、大正から昭和初期にかけて(株)松坂屋の初代社長 15代伊藤次郎左衛門祐民が覚王山丘陵の谷間を開いて築造した自然風山荘庭園です。伴華楼、白雲橋、三賞亭の市指定文化財を鑑賞しながら、池の周囲を回遊して散策すれば、季節によってヤマザクラ、ナンジャモンジャ、コブシなどの花木やハンゲショウ、キショウブ、カキツバタなどの草花が迎えてくれます。

この自然風の庭園にヤマザクラがよく似合います。ヤマザクラ(*Pernus yamasakura*)は、本州・四国・九州の他、台湾・朝鮮半島にも分布するバラ科の落葉高木で、日本の雑木林にたくさん見られます。春の萌葱に先立って咲く花は、里山に春を告げる花として親しまれてきました。また、葉芽が花と一緒に出る様には何とも言えない風情が感じられます。

ヤマザクラは、古来から和歌に詠われてきました。18世紀にエドヒガンとオオシマザクラの交配種と考えられるソメイヨシノが作られる前は、花と言えば桜、桜と言えばヤマザクラ、日本文化と切り離せない花なのです。

4月6日(日)には、揚輝荘北園で恒例のイベント「春を楽しむ会 2014in 揚輝荘」が開催されます。山桜咲く園内ではコンサート・模擬店・お茶会などいろいろな催しが行われます。入場無料、是非お出かけ下さい。



揚輝荘に春を伝えます。(26.3.28)



新葉の色は木によって様々です。(26.3.28)

お出かけは

地下鉄東山線覚王山駅下車徒歩約10分

入園無料 開園時間 午前9時30分～午後4時30分

休館日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)及び12月29日～1月3日

(名古屋市千種区法王町2丁目5番地の17 052-759-4450)